



士別ロータリークラブ会報

創立 1960・3・24 RI第 2500 地区

Vol. 28 No. 2418

2012-2013年度国際ロータリーのテーマ



例会場／士別グランドホテル
 例会日／毎週月曜日 12:10～13:10
 事務所／士別グランドホテル TEL 0165-23-1234
 会長／尾崎 学 副会長／千葉繁夫
 幹事／泉谷 勇



士別市立「あいの実保育園」と士別ロータリーが創立50周年記念事業に寄贈した遊具

2012-2013年度士別ロータリーのテーマ
奉仕の心を大切に 平和の絆を広げよう

第2500回例会 2013年3月4日(月)

今日のプログラム ・第2500回記念夜間例会並創立記念例会

前回(2月25日)の記録 ・普通例会

司 会 坂口芳一 会場監督
 斉 唱 奉仕の理想
 本日の出席 出席率 会員51人 出席39人 出席率76.47%
 本日の欠席 今井 裕、加藤 博、黒田康敬、近藤峯世、高山 稔、武田 修、野 英俊、深尾幸夫、森竹忠廣、坂野虎溪、細川博司、渡辺正一

メイクアップ

ビジター・ゲスト
 ニコニコBOX 大野裕一郎(百年記念誌発刊)、佐藤和彦(製糖作業終了)

累計 250,000円

例会予定

■ 3月例会日 【識字率向上月間】

- 3月4日(月) 第2500回記念例会(夜間例会)
- 3月11日(月) 例会・理事会
- 3月18日(月) 例会
- 3月25日(月) 夜間例会

■ 4月例会日 【ロータリー雑誌月間】

- 4月1日(月) 例会・理事会
- 4月8日(月) 例会
- 4月15日(月) 例会
- 4月22日(月) 夜間例会
- 4月29日(月) 休会(法定休日・昭和の日)

■会務報告 ……尾崎 学会長

●昨日は、晴天にめぐまれ第38回ピヒカラ樹氷歩くスキー大会が陸上競技場で行われました。また東京マラソンには、36000人ももの参加者が健脚を競いました。

●18日、士別国際交流協会のゴールバーン高校生短期留学研修報告会と国際交流講演会が行なわれ、出席してきました。姉妹都市を結んでいるオーストラリアのゴールバーンへ、昨年の夏、高校生6名が参加し、ホームステイをしながら地元高校生との交流や学校訪問など研修を深め、6名の高校生から感想や思い出などの報告があり、これからの生活に活かして行きたいと話していました。

●その後、士別出身で青年海外協力隊員として、2年間、中南米のグアテマラに派遣された、看護師、野口加那子さんが「子供の健康を守れ！」をテーマに講演を行ないました。スライドを使って、国の様子や医療の現状を説明していました。グアテマラの人口は1400万人以上でその内、半数の650万人を超える人々が貧困という事で、医療や看護、衛生面などの水準の低さや、乳幼児の死亡率改善など健康管理教育の普及に、活動したとのことでした。

●今月は、「世界理解月間」であります。2月23日はロータリーの創立記念日で、この一週間を「世界理解と平和週間」になっています。世界中で活躍されている日本人を通して世界を理解することの大切さを今回の講演で知ることができました。また、ゴールバーン、マルワリー市の生誕150年の記念式典が3月14日に開催され、牧野市長は議会開催中のため、田苅子前市長と、千葉道夫商工会議所会頭が派遣される事になっています。これからも高校生をはじめ市民との交流を深めて欲しいと思います。2月のガバナー月信で、櫻田ガバナーは、世界の理解は、いろいろな機会を通して外国人と交流し、接点をつくらなくてはなりません。世界の平和はそこからが出発点であります、と申しています。

●22日から平成25年度第1回定例市議会が始まりました。2013年度の市政執行方針と、教育行政執行方針が表明されました。一般会計157億5千万円で前年比2.2%減になっています。厳しい財政状況ではありますが、地域の活性化と市民サービス向上にむけて対処して欲しいと思います。

●来週の3月4日は2500回記念例会として、奥さまを交えての夜間例会であります。ひとつの節目として次なるスタートにしたいと思っています。いろいろ古い会報を調べています。会員の皆さまからも、昔の思い出や、記憶にある出来事など、スピーチをして戴きたいと思っています。多くのおみなさんの出席をお願い申し上げ、会務報告と致します。

■幹事報告 ……泉谷 勇幹事

①来週3月4日の2500回記念例会は、夜間例会です、また当日藪中ガバナー補佐も出席いただきます、どうぞ宜しくお願い致します。理事会は3月11日理事会終了後となります、理事者の皆様どうぞ宜しくお願い致します。

②「ロータリーの友」を3月11日に配布いたします。

③第2500回記念例会は写真撮影を行いますので、時間厳守のほど、よろしくお願ひします。

■次年度報告 奈良康弘次年度幹事

①先週2月22日（金曜）、第2回次年度理事会を開催終了いたしました。出席役員、理事の皆様ご苦勞様でした。

②社会福祉法人士別市社会福祉協議会より、評議員の推薦依頼が来ております。当クラブにおきましては、理事会におきまして次年度社会奉仕委員長・加藤博会員を推薦する事といたしましたのでご報告致します。

■会員卓話 佐藤元保国際奉仕委員長

国際奉仕はロータリアンが国際理解、親善、平和を推進すること。

国際奉仕が目指すものは奉仕の理想で結ばれ、世界の平和を推進するとある。

そして個々のロータリアンとロータリークラブに対して様々な国際平和に尽力することを求める責務があるとしている

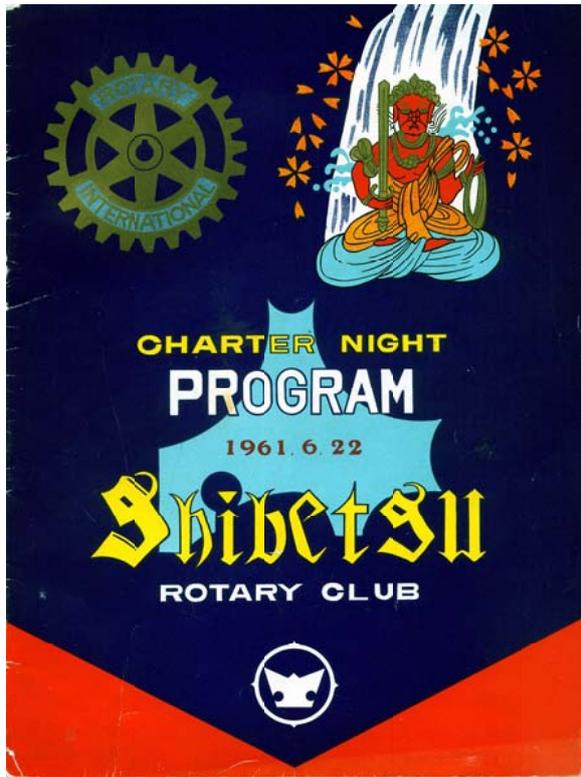
国際奉仕には以下の四つの分野があります。

- 1、世界社会奉仕奉仕プログラム
- 2、国際的教育と文化交流活動
- 3、特別な国際デーや国際週刊・月間と催し
- 4、国際的な会合

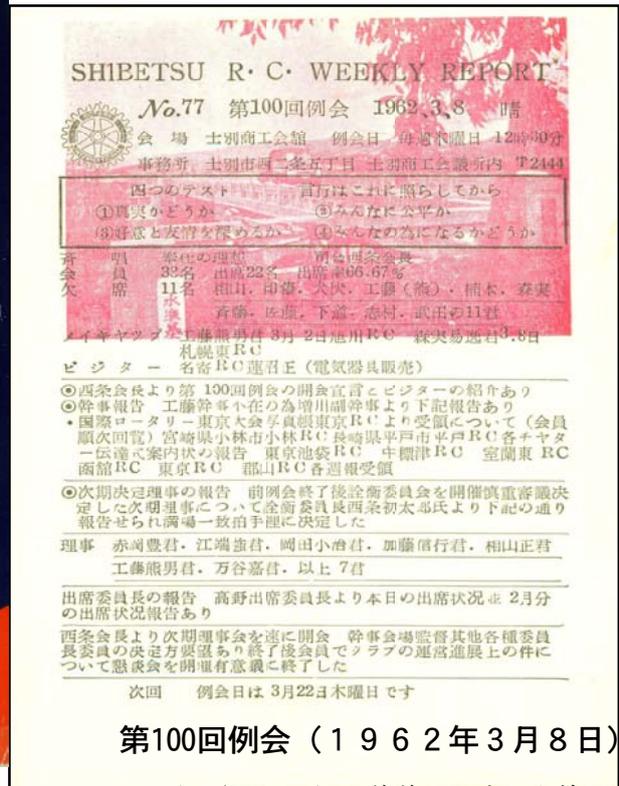
(詳しくはガバナー月信2月号の2ページを参照)

国際奉仕委員会の役割や人道的奉仕活動や教育的、文化的交流を通じて、ロータリアンの間に、また一般の人々の間に理解と善意を育むことが目的とされています。

第2500回例会記念特集

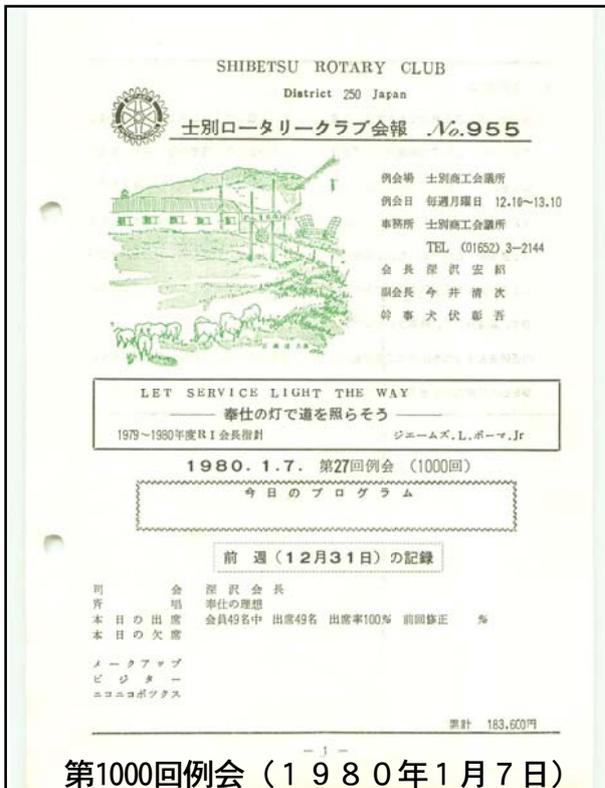


国際ロータリー加盟認証状伝達式
(1961年6月22日 於・士別商工会議所)
チャーターメンバー33人でスタート



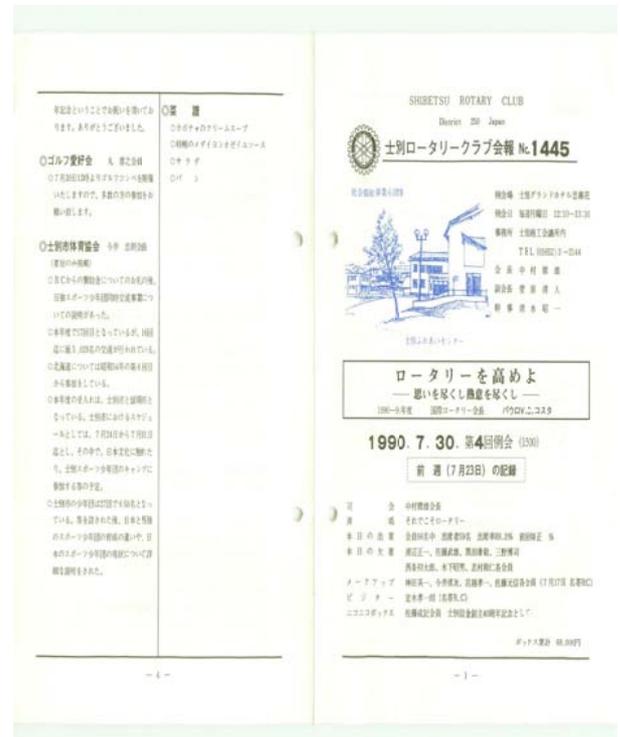
第100回例会 (1962年3月8日)

この年(昭和37年、道道士別滝の上線が開通。老人ホーム桜丘荘が開設。旧朝日町では村から町への町制が施行されました。



第1000回例会 (1980年1月7日)

この年(昭和55年)、公区制度を廃止し自治会に移行。つくも水郷公園完成。日加親善高校レスリング大会開催。



第1500回例会 (1990年7月30日)

旧朝日町で町内に若者主催による初の全日本力じまんトライアスロン朝日大会開催。国内初のローラースキーコース完成。

会報で見る士別ロータリークラブ

●第100回例会＝1962年3月8日（昭和37年）会員数33人、出席率66.6% 会場：士別商工会議所
開始時間：午後12時30分 現在残っている会員は百瀬達夫会員1名のみ

●第500回例会＝1970年3月5日（昭和45年）会員数49人、出席率77.5% 北海道地区は350地区と351地区に分割

●第1000回例会＝1980年1月7日（昭和55年）会員数52人、出席率82.7% 開始時間：午後12時10分 78年から250地区になる。会報にニコニコボックスの累計金額を掲載

●第1500回例会＝1990年7月30（平成2年）会員数66人、出席率89.3% 会場：思親花 食事のメニュー掲載 92年から2500地区になる

●第2000回例会＝2001年5月21（平成13年）会員数68人、出席率76.5% 会場：士別グランドホテル

卓話「士別RC・創立当時について」

大野忠義会員 （1970.3.26 第37回例会 通算第503回例会）

当クラブの創立当時の話を何かする様にとする事で初代の幹事だったし、お前がやれというので此処に立たされた様な訳で、そう言うことから申しましてやはり幹事としての当時の失敗談の様なものでも申し上げたら一番良いのでないかと言う事に考へましたので当時の事を振返って思い出しながら申し上げたいとそのように思います。

チャーターメンバーの方は殆んど御存じですけれども、その当時士別に“経済同友会” 非常に名前は立派なものですがそう言う会合がございまして、会員が20名程度居られたと思うんですが、その会に今は故人になりました旭川の西クラブの諸尾さんと言う方が来られて是非ロータリーを設立する様にとの話があった様に記憶して居ります。で、当時の同友会の会そのものは商工会議所が音頭をとって居りまして確か森実さんが会頭をやって居られたと思いますが、私、若輩でしたが、その会合に席を置いて居りました関係で、同友会を此のまま同じ会合の性格をもつ様なものだからロータリーに名前を変えてやって見たらどうかと云う話が御座いました。

それで会員の皆さんが非常に意欲を燃やし、特に日甜の松田所長さんが以前からロータリーの経験があり、我々からみればまったくの素人でないと云う事でこの方を中心に早速段取りをしまして25名の会員で仮クラブが出来たと言う事です。

松田さんが非常に熱心で御座いましたので松田さんを会長にお願いするとして、それじゃ幹事をどうする……ところが、大野、お前若いんだから幹事はお前がやれということになったんです。実はロータリーの幹事そのものは若いからとか年だからと云う年令的なものでやるんじゃないらしいですが、当時はまだ私が若いんですから普通一般に何の会でも言われる様に小使い役、走り使いをするのが幹事であろう。そういう先入観があったものですから、それではまあ、お引受けしますという事になった訳です。

いよいよ本番になった訳なんです、そうしますと今と違まして送られて来る通信文は全部横文字で御座います。私も学校時代は8年ばかり習ってはいたんですけれども何分卒業して20年が過ぎ、その間兵役で外地に行き、いわゆる大陸ぼけた様な形で帰って来たあとのものですから全然その様な通信を見せられても読めない、判らない、また旭川西クラブの方が来て話す言葉もロータリーの専門語と云う事で珍しいだけで何を言っているかさっぱり検討がつかない……こんな状況でしたから当時は出席率とか毎週会合を開いてどうしても出なければならぬ、欠席する場合には外のクラブにメーキャップしなければならぬ、などと言う事が非常に強く感じた訳でございます。然も何かと言へば60%でしぼられる。出席60%半期に達しない場合、資格が集結する。終結すると云う言葉自体も色々解釈があり、我々もピンと来ないのですが、今でこそ、まあ感じ方にも色々ピンと来ると言いますか何となく判る様な感じになりますけれども、当時聞いた我々としては、資格終結と言われてもピンと来ない、私としても全くこれは困った事で、幹事としては皆さんにその様な事をお奨めしなければならぬし、規則は規則としてやっぱり守って行かなければならぬと言う様な事で、先輩の名寄クラブにも訪れ、旭川、岩見沢まで足を伸ばすなどして色々、私としての苦労もあった訳語ですが、まあ幸いにして5月の末項に認証状が参りまして国際ロータリーに正式加盟と云う事で、7月の新年度になった訳ですけれども、新年度もまあ仮クラブの役員、そのままの移行と言う事で、幹事もそのまま引受けの結果になった訳で御座います。

本日、実はチャーターナイト当時のフィルムをお借りして来て創立当時のメンバーでない方に見ていただく、又当時の会員にはしのももらいたいのと思いましたが、時間も無い事ですし、またフィルムの中の映写時間もかかりますので、今年は10周年の行事も後に控えて居りますから何等かの機会に皆さんに見ていただく様にしたいと思います。（以下略）